

084 嵐の湖での弟子訓練(湖の上を歩く)

マタイによる福音書 14 : 22~33、マルコ 6 : 45~52、ヨハネ 6 : 15~21

マルコによる福音書 6 : 53~56

湖の上を歩く (マタイによる福音書 14 : 22~33)

22 それからすぐ、イエスは弟子たちを強いて舟に乗せ、向こう岸 (→④ベトサイダ[マルコ 6 : 45]) へ先に行かせ、その間に群衆を解散させられた。

→「強いて舟に載せた」理由：①群衆から遠ざけ休ませる、②五千人のパンの奇跡の意味を考えさせる、③イエス自身が一人になり山で祈るため (23 節)。

23 群衆を解散させてから、祈るためにひとり山にお登りになった。夕方になっても、ただひとりそこにおられた。

24 ところが、舟は既に陸から何スタディオン (約 185m/スタディオン) か離れており、逆風の (向かい風) ために波に悩まされていた。

→ガリラヤ湖は、アフリカ大地溝帯※₁と呼ばれる、シリア高原からアフリカのビクトリアの滝まで走る溪谷に沿って位置しています。大地溝帯沿いには、いくつかの湖や海があります。ガリラヤ湖があり、死海があり、南には紅海があります。今はもうありませんが、昔は、それらに加えてもう一つ、北部のフラ溪谷に、スベリオル湖と呼ばれる小さめの湖がありました。そのころのガリラヤ湖は、今よりもずっと多くの水量があり、水質も今よりもずっときれいでした。ガリラヤ湖は、四方向からの風がぶつかり易く、午後に吹き込んでくる従来の東風と、地中海から吹いてくる西の微風、それに加えて、北と南からも、アフリカ大地溝帯からの風 (空気) が流れてきます。時には、四方向から吹いてくる風が衝突し合う場所となるのです。この風のぶつかり合いは、なかなか予測出来る訳ではありません。午後になると東風が吹いてくることは知られていますが、他方向からの風がいつ吹いてきて嵐となるのかは、予測がつかないのです。ですから、イエスが弟子たちに「さあ、湖の向こう岸へ渡ろう」などと言われた時、それは彼らにとって大問題で、弟子たちは恐らく、「本当に渡れるのだろうか」と心の中で思ったことが予想できます。今回も、敢えて向こう岸に舟で渡ろうとする人などいないような時間帯の夕暮れ時だったのです。

※1 : シリアのヨルダン川の谷から、死海、アカバ湾、紅海、エチオピア高原を抜け、ケニア、タンザニア、マラウイ、モザンビークへ続く断層による谷状の凹地列。狭義には東アフリカを南北に連なるものをいい、東・西の2列からなる。



25 夜が明けるころ (回復訳 : 第四の夜回りのころ = 午前3時から午前6時)、イエスは湖の上を歩いて弟子たちのところに行かれた。

PM 6	PM 7	PM 8	PM 9	PM 10	PM 11	AM 0	AM 1	AM 2	AM 3	AM 4	AM 5	AM 6
第一の夜回り			第二の夜回り			第三の夜回り			第四の夜回り			
1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	

→マルコによる福音書 6 : 48

ところが、逆風のために弟子たちが漕ぎ悩んでいるのを見て、夜が明けるころ、湖の上を歩いて弟子たちのところに行き、そばを通り過ぎようとされた。

→ (回復訳) すると、逆風のために、彼らがこぎ悩んでいるのが見えたので、彼は第四の夜回りのころ、海の上を歩いて彼らの所に向かい、彼らを通り過ぎようとされた。

26 弟子たちは、イエスが湖上を歩いておられるのを見て、「幽霊だ」と言っておびえ、恐怖のあまり叫び声をあげた。

27 イエスはすぐ彼らに話しかけられた。「**安心なさい。わたしだ。恐れることはない。**」

→“Take courage! It is I. Don't be afraid.” (N I V)

→“Be of good cheer! It is I; do not be afraid.” (NKJV)

28 すると、ペトロが答えた。「**主よ、あなたでしたら、わたしに命令して、水の上を歩いてそちらに行かせてください。**」

29 イエスが「**来なさい**」と言われたので、ペトロは舟から降りて水の上を歩き、イエスの方へ進んだ。

30 しかし、強い風に気がついて怖くなり、沈みかけたので、「**主よ、助けてください**」と叫んだ。

31 イエスはすぐに手を伸ばして捕まえ、「**信仰の薄い者よ、なぜ疑ったのか**」と言われた。

→まず、ペトロを助け (対応)、信仰の薄いことを叱責した (→∴命が最優先)。

→嵐を静めるの一節 (マタイによる福音書 8 : 26)

イエスは (まず、弟子たちの不信仰を叱責し) 言われた。「なぜ怖がるのか。信仰の薄い者たちよ。」そして、起き上がって風と湖とをお叱りになる (→対応) と、すっかり風になった。

32 そして、二人が舟に乗り込むと、風は静まった。

33 舟の中にいた人たちは、「**本当に、あなたは神の子です**」と言ってイエスを拝んだ。

ゲネサレトで病人をいやす (一部、マルコによる福音書 6 : 53~56)

53 こうして、一行は (ガリラヤ) 湖を渡り、**⑤ゲネサレト**という土地に着いて舟をつないだ。

54 一行が舟から上がると、すぐに人々はイエスと知って、**55 その地方をくまなく**走り回り、どこでもイエスがおられると聞けば、そこへ病人を床に乗せて運び始めた。56 村でも町でも里でも、イエスが入って行かれると、病人を広場に置き、せめてその服のすそにでも触れさせてほしいと願った。触れた者は皆いやされた。

→くまなく : 隈無く = すみずみまで、余す所なく。



【参考】新約聖書にある「助けてください」

タイトル(書名)	章:節 聖句	【検索対象総数 : 4 / 聖句等の総数 33250 <助けてください>4個】	聖書Navi Active 393128091 (新共同訳) 【検索語彙 : 助けてください】
S マタイによる福音書	8:25	弟子たちは近寄って起こし、「主よ、助けてください。おぼれそうです」と言った。	
S マタイによる福音書	14:30	しかし、強い風に気がついて怖くなり、沈みかけたので、「主よ、助けてください」と叫んだ。	
S 使徒言行録	16:9	その夜、パウロは幻を見た。その中で一人のマケドニア人が立って、「マケドニア州に渡って来て、わたしたちを助けてください」と言ってパウロに願った。	
S ローマの信徒への手紙	8:26	同様に、“霊”も弱いわたしたちを助けてくださいます。わたしたちはどう祈るべきかを知りませんが、“霊”自らが、言葉に表せないうめきをもって執り成してくださるからです。	

【参考】旧約聖書にある「助けてください」

タイトル(書名)	章:節 聖句 [検索対象総数: 4 / 聖句等の総数 33250 (助けてください)4個]	聖書Navi Active 393128091 (新共同訳) [検索語彙: 助けてください]
K ヨシュア記	10:6 ギブオンの人々はギルガルの陣営にいるヨシュアに人を遣わして、こう告げた。「あなたの僕から手を引かず、早く上って来て、わたしたちを救い、助けてください。山地に住むアモリ人のすべての王たちがわたしたちに向かって集結しています。」	
K 列王記上	8:45 あなたは天にいましてその祈りと願いに耳を傾け、彼らを助けてください。	
K 列王記下	1:13 王は更に三人目の五十人隊の長とその部下五十人を遣わした。三人目の五十人隊の長は上って来て、エリヤの前にひざまずき、懇願して言った。「神の人よ、どうかわたしの命と、あなたの僕であるこの五十人の命を助けてください。」	
K 列王記下	1:14 御覧のように、天から火が降って来て、先の二人の五十人隊の長と彼らの部下五十人を焼き尽くしました。どうか、わたしの命を助けてください。」	

タイトル(書名)	章:節 聖句 [検索対象総数: 11 / 聖句等の総数 33250 (助けてください)11個]	聖書Navi Active 393128091 (新共同訳) [検索語彙: 助けてください]
K 歴代誌下	6:35 あなたは天からその祈りと願いに耳を傾け、彼らを助けてください。	
K 歴代誌下	14:10 アサは彼の神、主を呼び求めて言った。「主よ、あなたは力のある者にも無力な者にも分け隔てなく助けを与えてくださいます。わたしたちの神、主よ、わたしたちを助けてください。わたしたちはあなたを頼みとし、あなたの御名によってこの大軍に向かってやって来ました。あなたはわたしたちの神、主であって、いかなる人間もあなたに対抗することができません。」	
K 詩編	22:20 主よ、あなただけは／わたしを遠く離れないでください。わたしの力の神よ／今すぐにわたしを助けてください。	
K 詩編	31:2 主よ、御もとに身を寄せます。とこしえに恥に落とすことなく／恵みの御業によってわたしを助けてください。	
K 詩編	35:2 大盾と盾を取り／立ち上がってわたしを助けてください。	
K 詩編	38:23 わたしの救い、わたしの主よ／すぐにわたしを助けてください。	
K 詩編	40:14 主よ、走り寄ってわたしを救ってください。主よ、急いでわたしを助けてください。	
K 詩編	63:8 あなたは必ずわたしを助けてくださいます。あなたの翼の陰でわたしは喜び歌います。	
K 詩編	70:2 神よ、速やかにわたしを救い出し／主よ、わたしを助けてください。	
K 詩編	109:21 主よ、わたしの神よ／御名のために、わたしに計らい／恵み深く、慈しみによって／わたしを助けてください。	
K 詩編	109:26 わたしの神、主よ、わたしを助けてください。慈しみによってお救いください。	

【参考】ユダヤにおける時間の捉え方

< 1 > 時間の数え方

- ユダヤ式時間の数え方：午前6時を起点「第0時」とする。
共観福音書(マタイ、マルコ、ルカ)は、この時間表記で書かれている。

例) マタイ 27 : 45

さて、昼の十二時に、全地は暗くなり、それが三時まで続いた。【新共同訳】

From noon until three in the afternoon darkness came over all the land.【NIV】

さて正午から暗やみが全地を覆って、午後三時に及んだ。【回復訳】

Now from the sixth hour until the ninth hour there was darkness over all the land.【NKJV】

さて、第六時から闇が地上の全面を覆い、第九時にまで及んだ。【真理発見訳】

→「十二時」は、「第六時」、「(午後) 三時」は、は、「第九時」。

→NKJV(NEW KING JAMES VERSION)および真理発見訳は、ユダヤ式時間表記で訳している。

- ローマ式時間の数え方：午前0時を起点とする場合と午後0時(正午)を起点とする場合があり、文脈で判断する必要がある。
ヨハネの福音書は、「ローマ式時間」を採用しています。

< 2 > 夜回り(午後六時から翌朝六時までの12時間)の時間は、三時間ずつに四分割していた。

第一の夜回り(見張り)：午後6時から午後9時

第二の夜回り(見張り)：午後9時から午前0時

第三の夜回り(見張り)：午前0時から午前3時

第四の夜回り(見張り)：午前3時から午前6時

PM 6	PM 7	PM 8	PM 9	PM 10	PM 11	AM 0	AM 1	AM 2	AM 3	AM 4	AM 5	AM 6
第一の夜回り			第二の夜回り			第三の夜回り			第四の夜回り			
1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	

例) ルカ 12 : 38

主人が真夜中に帰っても、夜明けに帰っても、目を覚ましているのを見られる僕たちは幸いだ。

【新共同訳】

It will be good for those servants whose master finds them ready, even if he comes in the middle of the night or toward daybreak.【NIV】

And if he should come in the second watch, or come in the third watch, and find them so, blessed are those servants.【NKJV】

また、彼が第二の夜回りの時か、第三の夜回りの時に帰って来ても、奴隷たちがそのようなものであるのを見られるなら、幸いである。【回復訳】

彼が第二見張り時に、あるいは第三見張り時にやって来ても、彼らがそのようにしているところを見いだされるなら、その者たちは幸せです。【真理発見訳】

< 3 > ユダヤでは、一日を「朝」「昼」「第一の夕」「第二の夕」に四分割していた。

第一の夕…太陽が西に傾き始める午後三時頃から日没まで。

第二の夕…日没～暗くなるまで。